

相模原市孤立対策推進地区対応訓練の実施について

相模原市は、大地震の発生に伴い、津久井地域の中山間部（孤立対策推進地区※¹）において、交通、通信等が途絶し、孤立したという想定で、地域住民と警察、消防、自衛隊などの防災関係機関及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）とが連携した各種対策訓練を実施します。

1 日 時

平成25年2月24日（日）午前9時30分から正午まで

2 訓練場所及び実施内容

(1) 地域住民と防災関係機関が連携した実動訓練等

【場所】 緑区三井地内（名手地区）ほか

【内容】 名手地区において、実際に孤立したことを想定し、当該地区の住民と警察、消防、自衛隊など防災関係機関が連携した、避難誘導訓練、航空機による情報収集や救助ボート等を活用した負傷者の救出・救助訓練等の各種訓練を実施します。

また、その他孤立対策推進地区とまちづくりセンターにおいても、今年度配置の衛星携帯電話を活用した、地域住民参加の情報伝達訓練を実施します。

(2) JAXAが有する超高速インターネット衛星「きずな」を活用した情報伝達訓練

【場所】 津久井総合事務所1階（緑区中野633）

消防指令センター3階災害対策室（中央区中央2-2-15）

【内容】 JAXAとの協定※²に基づき、地域の現地対策班として対策を実施する、まちづくりセンター（津久井総合事務所）と区域の総合的な応急対策を実施する区本部との通信訓練（テレビ会議等）を実施します

3 参加機関

- (1) 地域住民（自治会等）
- (2) 神奈川県警察津久井警察署
- (3) 相模原市津久井消防署
- (4) 相模原市消防団津久井方面隊
- (5) 陸上自衛隊（東部方面航空隊・第4施設群）
- (6) 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- (7) 相模原市危機管理室・緑区役所

※1【孤立対策推進地区とは】

津久井地域の中山間部において、地震あるいは大雨による土砂災害等により、道路や通信網が被災して、交通や通信に支障が生じるおそれのある集落（地区）をいいます。

なお、市では、同地区に道路啓開等により孤立が解消されるまでの間の備えとして、昨年度は食料及び毛布を配置し、今年度には、さらに衛星携帯電話、発電機、救助工具セット及び水を配置します。

※2【JAXAとの協定とは】

相模原市とJAXAは、JAXAが所有する人工衛星を用いた防災利用実証実験の実施に関し、「相模原市における超高速インターネット衛星「きずな」を用いた防災利用実証実験に関する協定」を平成24年3月に締結しました。

相模原市は、地震、河川の氾濫、土砂災害時の防災情報の収集・伝達手段としての人工衛星の有用性を検証することで、将来の相模原市における防災業務への活用の検討を図ることを目的としています。

JAXAは、防災業務における人工衛星の活用方法を検討し、宇宙技術の防災利用に関する実証実験を相模原市と共同で実施することで、当該人工衛星及びその後継機の防災分野での有用性を検証することを目的としています。東日本大震災では、実際に岩手県庁と釜石市及び大船渡市の中にこの超高速インターネット衛星「きずな」を用いたブロードバンド環境を構築し、インターネットによる情報発信や情報収集、ハイビジョンTV会議などができるようにするなどの支援をした実績があります。

今回の訓練では、本協定に基づき、共同で詳細な運用方法等について、検証します。

※きずな衛星の具体的な利用方法

①高速通信を活用した災害対策本部と現地間でのTV会議利用及び②インターネット回線が不通になった際の補完利用が可能です。災害のより詳しい情報が把握でき、的確かつ迅速な情報共有や情報発信などの対応が期待できます。

【問い合わせ先】
相模原市危機管理室
電話 042-769-8208
FAX 042-769-8326